

2023年7月12日
株式会社プライムポリマー

マスバランス方式によるバイオマス PP「Prasus®」を採用した 日本生協連の食品パッケージがマスバランス方式初のエコマーク取得

株式会社プライムポリマー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：藤本 健介）が製造販売するマスバランス方式のバイオマス PP（ポリプロピレン）「Prasus®」が日本生活協同組合連合会（本部：東京都渋谷区、代表理事会長：土屋 敏夫、以下「日本生協連」）の食品パッケージに採用され、マスバランス方式として初のエコマークを取得しました。



今回、日本生協連が発売する「CO・OP 味付のり 10切90枚」（9月より順次切り替え予定）の包装パッケージに「Prasus®」が採用され、「バイオマス由来特性を割り当てたプラスチックを使用したプラスチック製容器包装」として初のエコマーク認定を受けました。

公益財団法人日本環境協会が運営するエコマークの認定基準に「バイオマス由来特性を割り当てたプラスチック」（＝マスバランス方式によるバイオマスプラスチック）が2023年2月1日より新たに導入されました。マスバランス方式によるバイオマスプラスチックは、既存の製造設備とプロセスを用いてバイオマスプラスチックを製造でき、石油由来と同等の品質・物性を維持しながらバイオマス化を実現できるという点から、社会全体でのバイオマスプラスチックの使用量を大幅に増やすことが可能になります。

日本政府が策定した「[プラスチック資源循環戦略](#)」では、「バイオマスプラスチック」を2030年までに約200万t導入を目指すことが示されており、プラスチックのバイオマス化は喫緊の課題となっています。再生可能資源を原料としたバイオマスプラスチックである「Prasus®」はサーキュラーエコノミー社会の実現、そして石油由来資源の使用量削減とCO₂排出量削減に貢献することで、カーボンニュートラルの実現に貢献します。

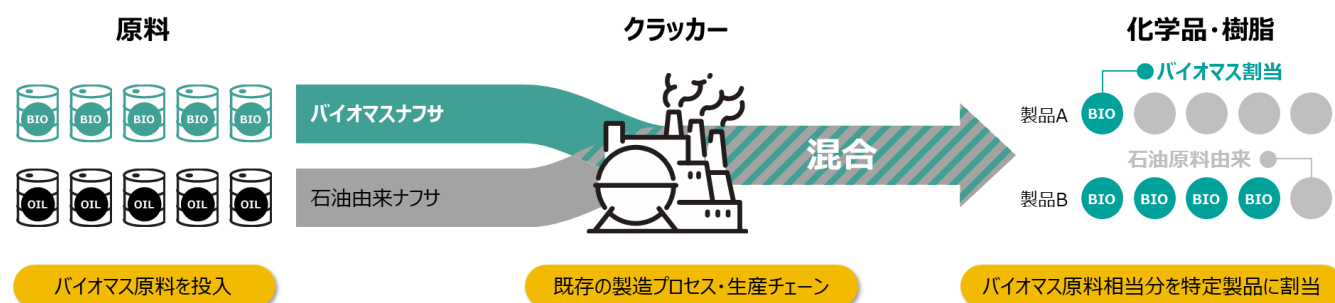
プライムポリマーは、今後ともカーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーの実現に向け、「Prasus®」の製造と販売を通じて、着実にバイオマスの社会実装を推進してまいります。

(参考) 日本生協連リリース：https://jccu.coop/info/newsrelease/2023/20230712_01.html

■マスバランス方式（物質収支方式）

「原料から製品への加工・流通工程において、ある特性を持った原料（例：バイオマス由来原料）がそうでない原料（例：石油由来原料）と混合される場合に、その特性を持った原料の投入量に応じて、製品の一部に対してその特性の割り当てを行う手法」（環境省バイオプラスチック導入ロードマップ）を言います。

石油由来のプラスチック・化学品と物性が全く変わらないこと、これまで難しかった素材でもバイオマス化が可能となるなど、カーボンニュートラル社会の実現に向けて社会全体のバイオマス度を向上させるための重要なアプローチです。また、サーキュラーエコノミーにおけたりサイクルソリューションとして展開されていくケミカルリサイクルにおいても、マスバランスは重要な役割を果たします。



[カーボンニュートラルへのアプローチ ISCC 認証を取得したマスバランス方式 | 持続可能な社会について知る・学ぶ | BePLAYER®-RePLAYER® | 三井化学株式会社 \(mitsuichemicals.com\)](#)

■Prasus®



株式会社プライムポリマーが展開する、新しいフィードストックを使用したマスバランス方式による環境にやさしい持続可能な製品（ポリエチレン、ポリプロピレン）のブランド名

以上

<リリースに関するお問い合わせ>

株式会社プライムポリマー 企画管理部 経営企画グループ

<https://www.primepolymer.co.jp/form/jp/inquiry/form01.php>